



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 S P K株式会社
コード番号 7466 URL <https://www.spk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沖 恭一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 藤井 修二 TEL 06-6454-2002
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	30,869	19.8	1,774	69.1	1,931	63.0	1,321	61.8
2023年3月期第2四半期	25,761	12.5	1,049	6.3	1,185	6.8	816	2.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,615百万円 (35.2%) 2023年3月期第2四半期 1,194百万円 (33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	131.60	—
2023年3月期第2四半期	81.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	35,914	23,755	65.8
2023年3月期	34,351	22,175	64.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 23,648百万円 2023年3月期 22,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2024年3月期	—	23.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	27.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	9.7	2,750	1.1	2,950	1.3	2,150	4.4	214.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）SPK Motorparts Co.,Ltd.、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,453,800株	2023年3月期	10,453,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	411,712株	2023年3月期	411,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	10,042,088株	2023年3月期2Q	10,042,088株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や、サービス業中心の消費の持ち直し、円安による輸出増などが景気回復に寄与しておりますが、物価上昇や製造業での設備投資意欲減退などもあり、緩やかな回復にとどまっています。世界経済は国・地域間で景況感に温度差があり、総じて成長は減速しております。中国の不良債権問題や、高インフレによる金融引き締め長期化など経済の不確実性が高まる可能性もあります。また、当社の事業領域である自動車アフターマーケット市場や建機・農機・産業車輛市場においては、引き続き原材料価格、物流費の高騰などが仕入価格に影響を与えておりますが、販売価格への転嫁、輸出の好調が続いたこともあり、業績は順調に推移しております。今後も企業価値の一層の向上を図るため、グループ総力で経営課題に取り組んで参ります。

このような事業環境のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高308億69百万円（前年同期比19.8%増加）、営業利益17億74百万円（同69.1%増加）、経常利益19億31百万円（同63.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億21百万円（同61.8%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（国内営業本部）

国内営業本部では、原材料価格の高騰や円安による仕入価格の上昇が依然として続いておりますが、主要顧客からの受注や主力商品の販売が堅調に推移しており、またグループ会社の順調な業績に加え、サプライチェーン全体での販売価格見直しなどの効果により業績は昨年を上回ることとなりました。その結果、売上高は144億87百万円となり、前年同期比で12.4%の増収となりました。今後も課題である物流費等の高騰によるコスト増や、物流2024年問題に対応するために物流改革を進め、補修部品の安定供給を最優先に、取引先と共に引き続き対応して参ります。また自社ブランド商品の開発と新規商材発掘に積極的に取り組み、取引先やグループ会社との連携を強化して、バリューチェーンを構築して参ります。

（海外営業本部）

海外営業本部では、中東アフリカ地域の輸入規制が緩和され、受注残の出荷が進み売上が大幅に増加したことや、円安も寄与し主力の中南米・アジア向けも順調に推移したことにより、当社単体の売上高は四半期ベースで過去最高となりました。海外連結子会社の業績も順調で、新たに今期よりタイの子会社を連結いたしました。その結果、売上高は111億33百万円となり、前年同期比で30.7%の増収となりました。足元の業績は好調ですが、新規受注は中南米・アジア地域でスローダウンしているところも散見されます。コミュニケーション及び海外出張の頻度を上げて現場状況をタイムリーに把握・分析し、必要な対策を講じて参ります。

（工機営業本部）

工機営業本部では、主要顧客の建機・農機・産業車輛メーカーが、部材調達の改善とともに、昨年来の受注残を解消するための増産を継続しております。その結果、売上高は37億3百万円となり、前年同期比で33.4%の増収となりました。一方、今期後半に向けては、中国経済の不安や欧州市場の電動化加速による顧客の中国工場減産、欧州工場におけるエンジン車輛の減産など、不安要素が増す経営環境ではありますが、環境性能や安全性能向上に対する止まることない市場の要求に応えるため、引き続き取引先と密接に協働して、環境・安心商材の開発に取組み、脱炭素・自動運転社会に向け貢献して参ります。

（CUSPA営業本部）

CUSPA営業本部では、世界的な原材料価格高騰の影響や、主要取扱商品における供給不足が継続しており、また、円安による輸入商材の仕入、調達コストの上昇、燃料費の高騰による嗜好品であるカスタマイズ・モータースポーツ商品の買い控えなど大きな影響が出ました。その結果、売上高は15億44百万円となり、前年同期比で2.3%の減収となりました。引き続き、為替動向を注視しつつ、主要取扱商品の安定供給確保に対応して参ります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は359億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億62百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産が285億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億9百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の4億54百万円の増加、及び電子記録債権の4億98百万円の増加によるものです。

固定資産は73億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億53百万円の増加となりました。これは主に建

物及び構築物の6億63百万円の増加によるものです。

負債の部では、流動負債が98億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して96百万円の増加となりました。

固定負債は23億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億13百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の1億5百万円の減少によるものです。

純資産合計は237億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億79百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は65.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月2日発表時のものからの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,612,792	5,900,628
受取手形及び売掛金	10,110,098	10,564,644
電子記録債権	1,248,548	1,747,127
棚卸資産	8,478,687	9,059,121
未収入金	560,577	431,311
その他	678,440	894,604
貸倒引当金	△12,413	△11,696
流動資産合計	27,676,731	28,585,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,385,415	2,048,429
機械装置及び運搬具(純額)	122,730	142,774
土地	2,235,369	2,708,814
リース資産(純額)	328,298	317,827
建設仮勘定	386,912	60,713
その他(純額)	121,896	144,258
有形固定資産合計	4,580,621	5,422,819
無形固定資産		
のれん	335,300	469,579
借地権	—	19,248
ソフトウェア	287,038	273,988
リース資産	39,097	29,793
その他	16,323	17,199
無形固定資産合計	677,760	809,808
投資その他の資産		
投資有価証券	275,085	358,628
繰延税金資産	332,583	330,714
退職給付に係る資産	12,637	12,475
その他	796,502	394,690
貸倒引当金	△132	△162
投資その他の資産合計	1,416,677	1,096,345
固定資産合計	6,675,058	7,328,974
資産合計	34,351,790	35,914,717

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,339,491	5,498,992
電子記録債務	209,159	282,911
短期借入金	1,013,323	980,661
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	781,191	734,972
未払法人税等	666,361	620,993
賞与引当金	297,221	333,705
その他	1,424,028	1,374,635
流動負債合計	9,750,776	9,846,872
固定負債		
社債	140,000	130,000
長期借入金	1,400,816	1,295,034
退職給付に係る負債	470,596	496,954
長期預り保証金	114,691	122,627
長期未払金	26,046	27,605
その他	273,286	240,198
固定負債合計	2,425,438	2,312,420
負債合計	12,176,214	12,159,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	898,591	898,591
資本剰余金	961,044	961,044
利益剰余金	20,237,618	21,377,681
自己株式	△435,500	△435,500
株主資本合計	21,661,752	22,801,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,466	96,172
繰延ヘッジ損益	671	△5,236
為替換算調整勘定	437,684	755,266
その他の包括利益累計額合計	513,822	846,202
非支配株主持分	—	107,406
純資産合計	22,175,575	23,755,424
負債純資産合計	34,351,790	35,914,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	25,761,347	30,869,133
売上原価	21,425,532	25,183,683
売上総利益	4,335,815	5,685,449
販売費及び一般管理費	3,286,020	3,910,759
営業利益	1,049,794	1,774,689
営業外収益		
受取利息	766	919
受取配当金	1,427	628
仕入割引	59,227	60,058
為替差益	67,236	84,367
その他	27,443	28,269
営業外収益合計	156,100	174,241
営業外費用		
支払利息	8,745	9,144
棚卸資産処分損	3,440	5,988
支払補償費	4,852	—
その他	3,560	2,076
営業外費用合計	20,598	17,209
経常利益	1,185,296	1,931,722
特別利益		
固定資産売却益	211	2,301
特別利益合計	211	2,301
特別損失		
事務所移転費用	4,100	2,822
固定資産除売却損	375	268
特別損失合計	4,476	3,091
税金等調整前四半期純利益	1,181,030	1,930,932
法人税、住民税及び事業税	368,518	589,883
法人税等調整額	△4,408	13,629
法人税等合計	364,109	603,513
四半期純利益	816,920	1,327,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	5,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	816,920	1,321,584

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	816,920	1,327,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,160	20,705
繰延ヘッジ損益	△9,660	△5,908
為替換算調整勘定	347,484	273,091
その他の包括利益合計	377,983	287,888
四半期包括利益	1,194,904	1,615,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,194,904	1,602,308
非支配株主に係る四半期包括利益	—	12,998

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より重要性が増したため、SPK Motorparts Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。

なお、SPK Motorparts Co.,Ltd.は、当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社北光社の全株式を取得し、子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、2023年6月30日をみなし取得日としたため、第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、当第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。